

問題 1

受験生の専門領域を問わず、時代や地域を超えた普遍的な音響学的・音楽的トピックについて、偏りなく正確な術語と事実認識を示すことができるか、根幹をなすキーワードの意味を多角的に捉え、当該トピックを展望した説得力と論理性と文章力を備えた論述を展開することができるかを問うもの。

問題 2

受験生の志望する専門領域に関わるキーワードについて、正確な術語と具体例を伴う事実認識を示すことができるか、論述内容が術語の一般的・基本的な説明にとどまらずに各専門領域の幅広い知識に裏づけられたものであるか、説得力と論理性と文章力を備えた論述を展開することができるかを問うもの。

問題 3

受験生の志望する専門領域に関わる音響装置について、その根幹をなす原理を多角的・俯瞰的に捉え、説得力と論理性と文章力を備えた論述を展開することができるかを問うもの。

問題 4

受験生の志望する専門領域に関わる、時代や地域を超えたトピックについて、根幹をなす記述の意味を多角的・俯瞰的に捉え、具体性と抽象性の両面、説得力と論理性と文章力を備えた論述と問題意識ないし考察を展開することができるかを問うもの。

問題 5

受験生の志望する専門領域に関わる、時代や地域を超えたトピックについて、偏りなく正確な術語と具体例を伴う事実認識を示すことができるか、根幹をなすキーワードの意味を多角的・俯瞰的に捉え、具体性と抽象性の両面、説得力と論理性と文章力を備えた論述と問題意識ないし考察を展開することができるかを問うもの。

問題 6

受験生の志望する専門領域に関わる、時代や地域を超えたトピックについて、偏りなく正確な術語と具体例を伴う事実認識を示すことができるか、根幹をなすキーワードの意味を多角的・俯瞰的に捉え、具体性と抽象性の両面、説得力と論理性と文章力を備えた論述と問題意識ないし考察を展開することができるかを問うもの。

問題 7

受験生の専門領域を問わず、今日の音響・音楽制作において基礎となる近現代のトピックについて、歴史を踏まえたうえで正確な術語と具体例を伴う事実認識を示すことができるか、

論述内容が術語の一般的・基本的な説明にとどまらずに具体性と抽象性の両面、説得力と論理性と文章力を備えた論述と問題意識ないし考察を展開することができるかを問うもの。